

## 筑波大学附属図書館の利用法に関する e-learning システムの構築 留学生のために

田晶晶

多くの留学生にとって筑波大学に入学した直後は日本という環境に慣れることが負担となっており、図書館ガイダンスを受けたり実際にその内容を習得する余裕がない。そこで入学後時間的余裕が出来たときに利用できる図書館利用法 e-learning システムは留学生にとって有効であると思われる。本研究では利用者が図書館利用法を身につけ、大学図書館が情報の宝庫であることを十分認識できるようにすることを目的とする。そのために学生が必要とする時にいつでも受けられる図書館ガイダンスの実現に向けて、図書館利用方法に関する e-learning システムの開発を行う。本研究では本学の図書館利用法を一つのストーリーの中に融合し、複数の写真に流れによるビデオの形で視聴者に提供する。本システムは本学の図情図書館撮影した 491 枚の写真の中から 204 枚と、ペイントを使って作成した 76 枚の写真を用いている。これらの写真を無料ソフト Windows Movie Maker を用いて映像編集を行った。内容としては、入館の際の手続き、雑誌や図書の探し方、OPAC などのデータベース検索の詳細、留学生のための国際交流コーナー、図書館の活用などを収録しており学習時間は合計 33 分 18 秒である。そのほか、利用法について学生に知っておいてもらいたい点に関するテスト問題を作成し、採点結果と解説と得点による評価メッセージを付した。全部 25 問出題、4 つの選択肢の中から正解 1 つを選ぶ方式を採用した。

(指導教員 辻慶太)